

岡山勝廣 後援会だより



創ろうみんなに住みよい六ヶ所村を

第16号

平成19年12月

発行元 岡山勝廣後援会 〒039-3215 六ヶ所村大字倉内字笹崎 1031-11

TEL 0175-74-2557 (FAX兼)

ホームページ: <http://www.okayama.com/>

メールアドレス: koka@jomon.ne.jp

トピックス

岡山勝廣さん、一般質問に立つ

質問 村営牧場の管理及び

利用状況について

(1~2ページ)

質問

野菜農家が利用する

消毒水の確保について

(2ページ)

平成19年12月 六ヶ所村議会定例一般質問

(1) 村営牧場の管理及び利用状況について

岡山さん

当村において、第一次産業の一つである畜産業に関して様々な政策を実行して頂いております。その事業と致しまして、三年前より「繁殖牛導入事業」と「高能力牛乳用雌牛導入事業」を取り入れて頂いております。

これにより、採卵事業による高能力牛を増加

させ、優良牛を育成する事が可能となり、その結果、畜産に対する意欲が高まり、後継者の確保に貢献しています。

また、共進会への参加意識が高まり、その結果、出品者の増加につながり、農家の経営基盤の安定等、様々な効果が上がっております。

事実、庄内地区の五十嵐さんが「第7回全日本B&Wショウ」の青森県代表に選出された事を始め、「青森県乳牛共進会」においては、六ヶ所村から出品された牛が「農林水産大臣賞」を始めとする各種チャンピオンを獲得致しております。

これもひとえに、村長の畜産振興に対するご熱意の賜ものと感謝申し上げます。ご熱意の賜ものと感謝申し上げます。ご熱意の賜ものと感謝申し上げます。ご熱意の賜ものと感謝申し上げます。ご熱意の賜ものと感謝申し上げます。

そこで、村営牧場の管理及び利用状況についてお尋ねします。

質問① 放牧区は種類別に分けないと様々な弊害が有ると思われるが現状はどの様になっているのでしょうか。

質問② 夏場の暑さ対策として、放牧区に

牛の避難舎が必要だと思われるが、現状はどの様になっているのでしょうか。

質問③ 第三に、草地更新のサイクルはどの様になっているのでしょうか。

吉川村長

の回答

質問①に対して

放牧区は種類別に分けないと弊害があると思われるのと、ご質問についてであります。二又放牧場については、ご指摘のとおり、蓄種・種類別に放牧しないと弊害が予想されるため、黒毛和種、乳牛育成、乳牛成牛と三つの放牧区に分けて管理運営を行っております。

再質問に対して

和牛は「角有り」「角無し」に分けられるよう検討を進めます。

質問②に対して

夏場の暑さ対策として、放牧区に牛の避難舎が必要ではないかとのご質問についてであります。放牧牛の健康・安全の確保等を図るため、二又放牧場には、それぞれの放牧区に避難舎を設置しております。

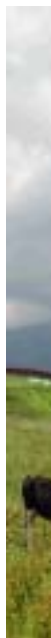
再質問に対して

延床面積が小さいので増築の検討を進めてまいります。

質問③に対して

草地更新のサイクルについてであります。昭和六〇年度に出戸牧場及び平成一三年度に二又放牧場の草地更新等を行っております。

なお、草地の更新サイクルにつきましては、牧草の生育状況を把握しながら対応する必要がありますと理解しております。補助制度では、草地更新後8年を経過しないと事業実施できないという制約がありますので、その時期が参りましたら、検討したいと考えております。



(2) 野菜農家が利用する消毒用水の確保について

岡山さん

現在、野菜農家においては、農繁期4月～10月になりますと、月に4～5回、1回約20tの消毒用の水を使用するとの事です。

しかし、給水設備が平沼支所1ヶ所しかなく、非常に混雑し農作業の効率が著しく低下すると聞いております。

そこで、農家の労働力軽減と野菜の生産量増大を図るため、畑作地帯へ給水設備を設置する事業を実施するお考えが無いのか、お伺い致します。

吉川村長

の回答

野菜農家が利用する消毒用水の確保についてであります。これまで、各地区から要望書が提出されており、野菜農家の労働力の軽減や生産性の向上を図るために、給水施設の必要性は、理解できるところであります。

なお、事業実施に当たりますは、耕作面積や費用対効果等を考慮しながら、検討して参りたいと考えておりますのでご理解を賜りますようお願いいたします。

